

人の印象を左右する“印象ゾーン”的一つである口もとに着目し、  
「口もと」から顔全体、その人の印象まで、美しく引き立てることを目指す。  
すべての人の可能性を信じるB.Aから大人の魅力を美しく魅せる「リップゾーンケア」を新提案。

## 『B.A リップゾーンクリーム』、『B.A カラーリップゾーンクリーム』 2026年4月1日発売

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林 琢磨）は、ポーラ最高峰ブランド「B.A」より、2026年4月1日に『B.A リップゾーンクリーム（¥6,930＜税抜¥6,300＞）』、『B.A カラーリップゾーンクリーム（¥5,830＜税抜¥5,300＞）』を発売。うるおい、ハリ感、艶に満たされたような口もとを目指します。

B.Aは、1985年に誕生。“人の可能性は広がる”というブランドポリシーを掲げています。2025年に誕生したB.A第7世代では、過去や今という、時間の概念にとらわれずに、自分史上最高を目指す生き方を提案。「時間は、存在しない※1。」というメッセージを発信してきました。そのB.Aが次に提案するのは、瞬間に高揚する、未知なる自分との出会い。人の印象を左右する“印象ゾーン”的一つである口もとに着目し、すべての人が持つ無限の可能性を信じ、美しさの可能性を切り開いていきます。

### ◆製品特長

まるでB.A スキンケアを閉じ込めたかのようなスティック状リップ美容液

【目指す口もと】縦ジワを瞬時にカバー。うるおいによる艶感で唇を立体的に見せ、ハリ感を与えます。

【成分】ポーラオリジナル複合美容成分※2 「BAコアエキス※3」や「LSロスマ※4」、ポーラオリジナル美容成分「YACエキス※5」など、B.A スキンケアと共通の美容成分を配合。

【処方】美容成分を抱えたままぴたっと密着し、ハリ感を演出する処方設計。唇の色ムラ・縦ジワを瞬時にカバー。

【感触】アレがち、乾燥しがちな唇でもムラなく塗れてぴたっと密着。

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ＆エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約430店舗、旗艦店「ポーラ ギンザ」・全国百貨店等ポーラコーナー91店舗を含む約2,500店、日本国内空港免税店コーナー11店舗、ポーラ公式オンラインストア（<https://www.pola.co.jp/ec/>）にてお取り扱いします。（店舗数は、2024年12月末時点）海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・韓国・マレーシア・インドネシアの9の国と地域にて順次発売予定です。



2026年4月1日発売

### B.A リップゾーンクリーム

<リップトリートメント>

¥6,930（税抜¥6,300） 無香料



### B.A カラーリップゾーンクリーム

<口紅・リップトリートメント>

¥5,830（税抜¥5,300） 全4色 無香料

メイン色



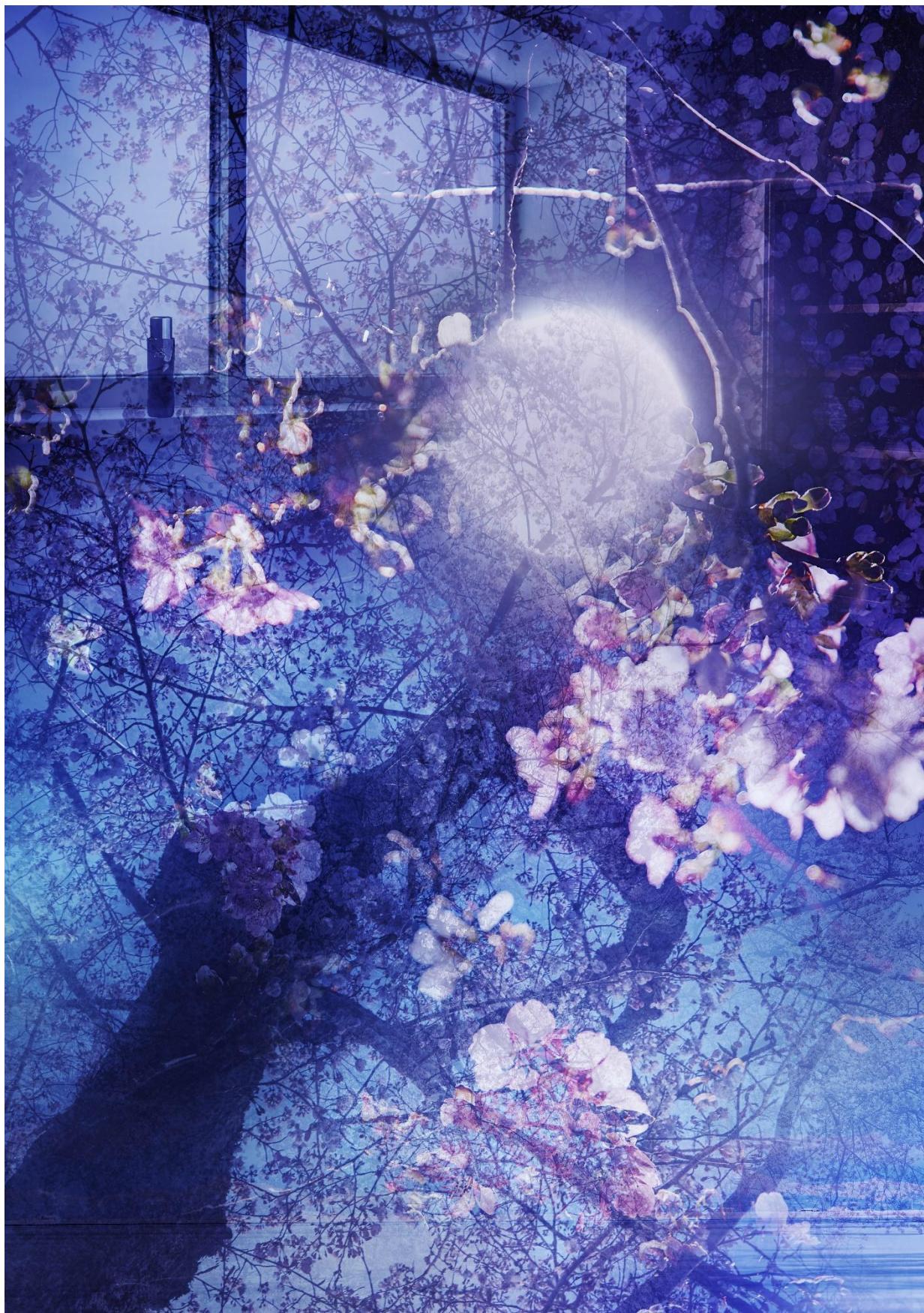
※1: 時間や年齢にとらわれず、人の可能性を広げたいというブランドの想い

※2: 保湿成分 ※3: シストセイイラタマリンホリアエキスとナギイカダ根エキスの複合成分

※4: セージ葉エキス、オオバナサルスベリ葉エキスの複合成分

※5: ヨモギ葉エキス

BA



**POLA**



時間は、存在しない※1。

過去や今という時間の概念にとらわれず、

自分史上最高を目指す生き方を提唱するB.Aが次に提案するのは

瞬間的に高揚する、未知なる自分との出会い。

人の印象を左右する“印象ゾーン”的一つである口もとに着目し、

「口もと」から顔全体、その人の印象まで、美しく引き立てることを目指す。

すべての人の可能性を信じるB.Aから大人の魅力を美しく魅せる「リップゾーンケア」を新提案。

『B.A リップゾーンクリーム』  
『B.A カラーリップゾーンクリーム』  
2026年4月1日誕生

美容成分※2を抱えたままぴたっと密着し、ハリ感を演出する  
新開発の「モイストフィットベール」により、唇の色ムラ・縦ジワを瞬時にカバー。

アレがち、乾燥しがちな唇でもムラなく塗れて、うるおいが続く。

まるでB.A スキンケアを閉じ込めたかのようなスティック状リップ美容液。

塗布した瞬間、自信が満ち溢れるような「リップゾーンケア」が誕生します。



2026年4月1日発売

B.A リップゾーンクリーム

<リップトリートメント>

¥6,930 (税抜¥6,300) 無香料



B.A カラーリップゾーンクリーム

<口紅・リップトリートメント>

¥5,830 (税抜¥5,300) 全4色 無香料

メイン色



01  
フレアレッド



02  
ネクターピンク



03  
アンバーテラコッタ



04  
ホライズンブラウン

※1：時間や年齢にとらわれず、人の可能性を広げたいというブランドの想い ※2：保湿成分

POLA



## ブランドについて

ポーラ最高峰ブランドB.Aは、1985年の誕生以来、ハリ肌研究をベースに「人の可能性は広がる」というポリシーのもと、肌領域にとどまらず、人そのものをあらゆる視点でとらえた多角的な研究を重ね、常に新たな時代を切り開きたいという想いで、新たな価値を提案してきました。

2025年に誕生したB.A第7世代では、過去や今という、時間の概念にとらわれず、自分史上最高を目指す生き方を提案。「時間は、存在しない※1。」というメッセージを発信してきました。そのB.Aが次に提案するのは、瞬間に高揚する、未知なる自分との出会い。人の印象を左右する“印象ゾーン”的である口もとに着目し、すべての人が持つ無限の可能性を感じ、美しさの可能性を切り開いていきます。

## リップゾーンクリーム 誕生背景

B.A メークは「そのマークには、B.A スキンケアが生きている。」をコンセプトに、毎日肌にまとうマークを日中のエイジングケア※2と捉え、スキンケアと同様の考え方で研究開発をしています。

いつでも心地よく豊かな時間を過ごすための「持ち運べるスキンケア」発想で、スキンケアのように心地よい時間や感触を提案したいという想いで開発を進めています。

### 【印象ゾーンへの着眼】

2018年に、目もと・口もとが自身の魅力を伝えると同時に、周囲との良好なコミュニケーションを築くための重要な“印象ゾーン”であることに着目しました。さらに、これらのパーツの変化が年齢印象にも影響することを見出していました。

2022年には、目もと研究から、ハリ・透明感・柔軟性※3が人の印象を決める大切な要素であることを見出しました。

これまでさまざまな印象研究を深化させてきたB.Aが、今回あらためて向き合ったのが「口もと」。

年齢とともに増える、

- ・乾燥によるアレやすさ
- ・唇のハリ感不足
- ・縦ジワや色ムラが目立ちやすい

といったお悩みに着目し、B.Aが培ってきた研究知見をもとに「リップゾーンケア」を提案します。

すこやかな唇に整え、顔全体の美しい印象を目指します。

### 口もとは人の印象を左右する「印象ゾーン」

口もとの違いだけで人の印象が変わる

顔全体も  
疲れた印象。



イキイキと  
明るい印象。



口もとのみ、縦ジワ、乾燥、立体感、くすみ、輪郭のぼやけ、色調に違いを加えたシミュレーション画像

※1：時間や年齢にとらわれず、人の可能性を広げたいというブランドの想い ※2：年齢に応じたお手入れ ※3：角層



## 【 製品特長 】

唇のしほみ感※1、乾燥をケア。

使うたび、うるおい、ハリ感、艶に満たされたような口もとを。

●B.A スキンケア共通の美容成分※2を配合し、繊細な口もとをケア。美容成分を高※3濃度配合。

●縦ジワを瞬時にカバー。

●唇の色ムラ・縦ジワをケア※4し、うるおい・ハリ感・ボリュームアップ※5仕上がり。

### B.A リップゾーンクリーム

<リップトリートメント>

¥6,930 (税抜¥6,300) · 無香料



唇の色ムラ・縦ジワをケアし、

みずみずしく明るい発色と艶のある仕上がり。

濃密なテクスチャーで唇を守る、美容液発想のリップスティック。

●B.Aスキンケア共通の美容成分を配合し、繊細な口もとをケア。唇のうるおいをキープ。

●縦ジワを瞬時にカバー。時間が経っても色あせしにくく、美しい仕上がりが続く。

●ひとぬりで艶やか、シアーな発色。重ね塗りでしっかり発色。仕上がり自由自在。

### B.A カラーリップゾーンクリーム

<口紅・リップトリートメント>

全4色 ¥5,830 (税抜¥5,300) · 無香料



## デザイン

コンセプト：「未知との出会い」

あらゆる方向で表情を変え印象が変容し、未知との出会いを感じられる  
ようなデザインを目指しました。

B.A カラーリップゾーンクリームの容器は、開けた時のリップの色彩と  
その瞬間の出会いを大切にした、リップの色を引き立てるカラーリングで、  
メークをする度に胸躍る高揚感を表現。



B.A リップ  
ゾーンクリーム

B.A カラーリップ  
ゾーンクリーム

※1：ハリ感のなさ ※2：保湿成分 ※3：B.A カラーリップゾーンクリームとの比較 ※4：メーク効果による

※5：ツヤ感で立体的に見せる

**POLA**



【 製品特長 】

B.A カラーリップゾーンクリーム カラー展開

**自然がもつ色の奥行きを、唇へ**

自然界に存在する色彩の重なりや揺らぎから着想。

すべての色に「白」を忍ばせることで、影を感じさせず、立体感※のある唇印象を。

B.Aならではの深みと、日常に寄り添う使いやすさを両立した洗練されたカラーバリエーション。



01 フレアレッド

静かな強さを、唇に。  
澄んだ赤に、ほのかな青みを忍ばせたフレアレッド。  
ひと塗りで肌の透明感を引き立て、  
意志のある表情を演出します。  
華やかでありながら、強すぎない。  
自信を宿すレッド。



02 ネクターピンク

可憐さではなく、洗練をまとうピンク。  
甘さを抑えたピンクに、落ち着きと艶をレイヤリング。  
素肌の延長のようにとけこみながら、  
表情をやわらかく、上品に整えます。  
シーンも装いも選ばない、  
頼れるピンク。



03 アンバーテラコッタ

血色感※に、エネルギーを。  
温かみのあるアンバーに、テラコッタの深みを  
プラス。自然な血色感から、重ねることで  
意志のある表情を演出。  
一見大胆でありながら、肌になじむ  
テラコッタカラー。



04 ホライズンブラウン

抜け感と品格のグラデーションが織りなす、  
ニュートラルカラー。  
赤みを含んだブラウンが、唇に自然な陰影を。  
ラフにつければ軽やかに、重ねれば凛とした表情を演出。  
季節もスタイルも選ばない、  
深みと透明感を両立したレッドブラウン。

メイン色

**POLA**



## 【 製品特長 】

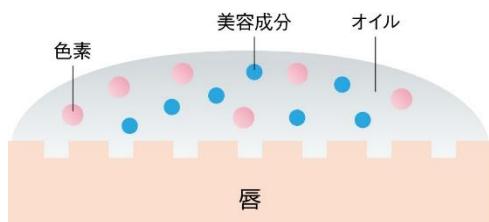
B.A リップゾーンクリーム・B.A カラーリップゾーンクリーム共通

新開発

処方

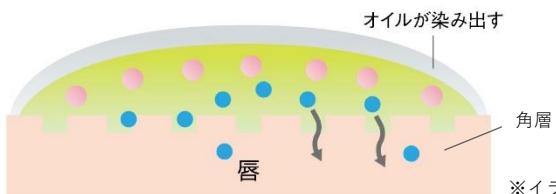
美容成分※1を抱えたままぴたっと密着し、ハリ感を演出。  
「モイストフィットベール」

<瞬時に縦ジワをカバー>



厚みのあるやわらかいベールが凹凸を埋めるように伸び広がり縦ジワをカバー。

<うるおい・艶続く>



※イラストはイメージ

唇の水分によってベールの一部がゲル化し、密着。艶のあるオイル※2が染み出すことで艶をキープ。落とし蓋のようにうるおいを閉じ込めるベールでうるおいをキープ。

POINT 1

テクスチャー

濃密※3なクリームが唇と一体化するように溶けなじむから、アレがち、乾燥しがちな唇でもムラなく塗れてぴたっと密着。

美容液のようになめらかな使用感、唇と一体化するような密着感を目指したテクスチャー。  
唇の水分によってベールの一部がゲル化し、密着。



ベールを構成するオイル

水を添加



密着感のあるゲル膜に変化

(POLAイノベーションセンター調べ)

POINT 2

仕上がり

瞬時に縦ジワをカバー。みずみずしいハリと艶のある仕上がり。

<塗布前>



・縦ジワが目立つ

<塗布後>



・縦ジワをカバーしながら艶をプラス

※メーク効果による  
※B.A リップゾーンクリームを使用

※B.A カラーリップゾーンクリーム  
02を使用

※1：保湿成分 ※2：リンゴ酸ジイソステアリル（保湿） ※3：感触のこと

**POLA**



## 【 製品特長 】

### 成分

B.A スキンケアと共に美容成分※を配合

ポーラオリジナル複合美容成分「BAコアエキス」

ポーラオリジナル複合美容成分「LSロスマ」

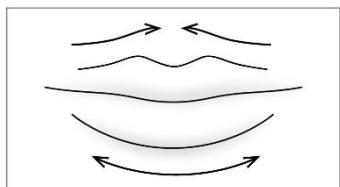
ポーラオリジナル美容成分「YACエキス」

※：保湿成分

## ご使用方法

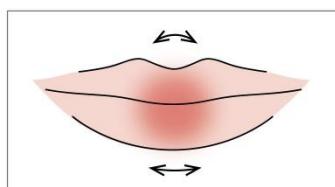
### 基本の使用方法

#### STEP1



スティックの先端をリップラインに沿わせながら、矢印通りに塗布していく。

#### STEP2



唇中央に何度も重ね塗りし、立体感※を強調する。

※：メーク効果による

## 配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称	リップバークリーム	カラーリップバークリーム
保湿成分	BAコアエキス※	シストセイラタマリシホリアエキス、ナギイカダ根エキス	●	●
	YACエキス※	ヨモギ葉エキス	●	●
	LSロスマ※	セージ葉エキス、オオバナサルスベリ葉エキス	●	●
	ウラボシヤハズエキス	ウラボシヤハズエキス	●	●
	ホホバ種子油	ホホバ種子油	●	●
	マカデミアナッツステロール	マカデミアナッツ脂肪酸フィトステリル	●	●
	スクワラン	スクワラン	●	

※：ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分。・無香料

## 【 別添／ポーラの研究 】

### 唇の独自構造に着目

ポーラは、肌とは異なる、唇ならではの構造に着目。

角層が薄い

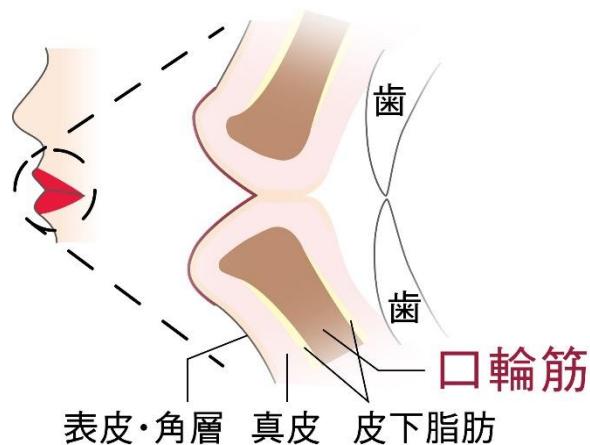
▶ バリア機能が低く、乾燥・摩擦など外からの刺激に弱い。

血管の占有面積が  
大きい

▶ 血管の影響を大きく受ける。  
加齢とともに血管が消失すると栄養・酸素を運ぶルートがなくなり、  
血色・うるおい・立体感が生み出せない状態に。

唇の真皮直下に  
口輪筋が存在する

▶ 口輪筋の状態が見た目に影響。  
加齢とともに口輪筋の筋線維が減少することにより、唇の口輪筋が  
やせてしまい、唇のボリュームダウンにつながると考えられる。



口輪筋とは：

口を取り囲むように存在する筋肉であり、口を動かす役割を持つ。唇の皮膚の土台として存在し、大きな体積を占める。

※イラストはイメージ